

モンゴル経済トピック（2009年6月）

今月の主なトピック

- モンゴル新大統領、オヨートルゴイ開発契約案の内容変更を求める（経済）
- モンゴル銀行（中央銀行）、政策金利を11.5%に引き下げ（金融）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- オープン・ソサエティ・フォーラムとモンゴル国立大学経済学部は、ウランバートル市に住む1,100世帯を対象に、現在の経済状況に関する聞き取り調査を協同で実施した。同調査では、同市の平均的な世帯収入はひと月30万から40万トグログ、貧困率は57.5%、極貧困率は11.5%、失業率は10%という結果が出た。（UN5）
- 6日、バヤル首相はロシア連邦ブリヤート自治共和国大統領らと会談を行った。同会談では、ブリヤート側から、モンゴル政府がアルタンボラクに建設予定の自由貿易特区と同様のものをブリヤート国内に建設する関心のあることが表明されたほか、両国が共同で貿易特区建設に関する作業部会を設置することにつき合意した。（ZM8）
- 国家統計委員会から2009年5月の時点での社会経済指標が発表された。貿易総額は前年同期比40%減の12億8,700万米ドル。また、貿易赤字は1億120万米ドル、国の財政赤字は1,918億トグログ、ウランバートル市の失業率は27%であった。（ZM11）
- 18日に宣誓式を行ったエルベクドルジ新大統領は、経済情報専門の通信社であるブルームバーグとのインタビューの中で、オヨートルゴイ銅・金鉱床の開発に関わる計画に関して「アイヴァンホー・マインズ社との契約案内容は変更されることが望ましい。私は、開発に当たって設立される新会社の株式をモンゴル側が34%保有するのは望ましいアイデアであると思わない。その代替案として政府が利益の50%を直接得ることを提案したい。」と回答した。（UN19）
- 25日、ムンフバヤル・ウランバートル市長はハス銀行、ゾース銀行など計5行の銀行の経営者と会談し、総額97億トグログの中小企業支援融資契約に署名した。同契約は、国から同市に中小企業開発資金として分配された予算を上記の銀行を介して中小企業に対し融資するもので、融資条件は一社に対し最大5,000万トグログ、期間3年、月利1%となっている。（ZM26）

- モンゴルと中国の外交関係樹立 60 周年にあわせ、内モンゴル自治区貿易支援委員会代表事務所がウランバートル市に開設され、同委員会とモンゴル商工会議所は長期パートナーシップ協定に署名した。今後は幅広い分野における双方の協力拡大を目指す。(ZM29)

2. 経済協力

- 8 日、モンゴルとドイツ両政府の鉱物資源分野における協力を担当する作業部会間の初会合がベルリンで行われ、鉱山及び鉱物資源分野における協力支援覚書がモ・独政府間で締結された。(AE11)
- 大統領の宣誓式に合わせてモンゴルを訪問したインドのカウル外相はバイヤル首相と会談し、インド政府はモンゴルに対し 250 万米ドルの借款並びに小麦及び米の無償援助を実施する用意があることを表明した。(US23)
- 25 日、モンゴル政府と中国政府は両国間の経済・技術協力協定に署名した。また同日、道路・運輸・建設・都市計画省は中国の建設関連会社と、モンゴルでのセメント工場建設に対する投資契約を締結した。(ZM26)

3. 金融

- 12 日、モンゴル銀行（中央銀行）は、政策金利を 1.25 ポイント引き下げ 11.5%とすることを決定した。(ZM16)

4. 貿易等

(特記事項なし。)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

- 政府は、原子力発電所の建設も視野に入れた今後 12 年間のウラン利用及び原子力研究開発計画を作成した。2 段階に分けて実施される同計画の第 1 段階（2009－2012 年）では、計画の実施に必要な法的環境の整備を行い、第 2 段階（2013－2021 年）から、計画の本格的実施に移る予定である。計画実施費用 4 兆 3,941 億 6,900 万トログログのうち 1.17%を政府が負担し、残りの 98.11%を民間から、0.71%を海外の融資によって調達する計画である。現在モンゴル国内のウランの確定埋蔵量は約 6 万 5 千トンである。(ZM9)
- モンゴル北部にあるオラーンオボー炭鉱の開発権を保有するレッドヒル・エナジー社はスイスのフェルコン・マイニング社と協力契約を締結した。

同契約に基づき、オランオボー炭鉱の開発計画はフェルコン・マイニング社に委譲されることとなった。同炭鉱の確定埋蔵量は1億7,450万トンである。(UN18)

7. 教育

(特記事項なし。)

8. 農牧業

(特記事項なし。)

9. 保健医療

- 24日、モンゴルを訪問中のドイツ連邦保健省カスパーズ＝メルク政務次官はランバー保健相と会談し、医療保健分野における協力契約に署名した。同会談において、モンゴル医師5名に対しドイツで外科研修を受けさせることが決定された。また現在、母子健康センターでは両国の協力の下、小児癌対策計画が実施されている。(AE25)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリーン・ソニン紙、ZM ゴーニー・メデー紙、UN ウヌードゥル紙、MM モンゴリン・メデー紙、TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙)

(了)